

つつが虫病の発生動向【沖縄県：2006年～2022年】

2023年7月7日現在（2022年の数値は暫定値）

感染症発生動向調査において、2006年～2022年^{*}に診断され、届出されたつつが虫病の情報を還元します。

※疫学週によります。具体的な各年の集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

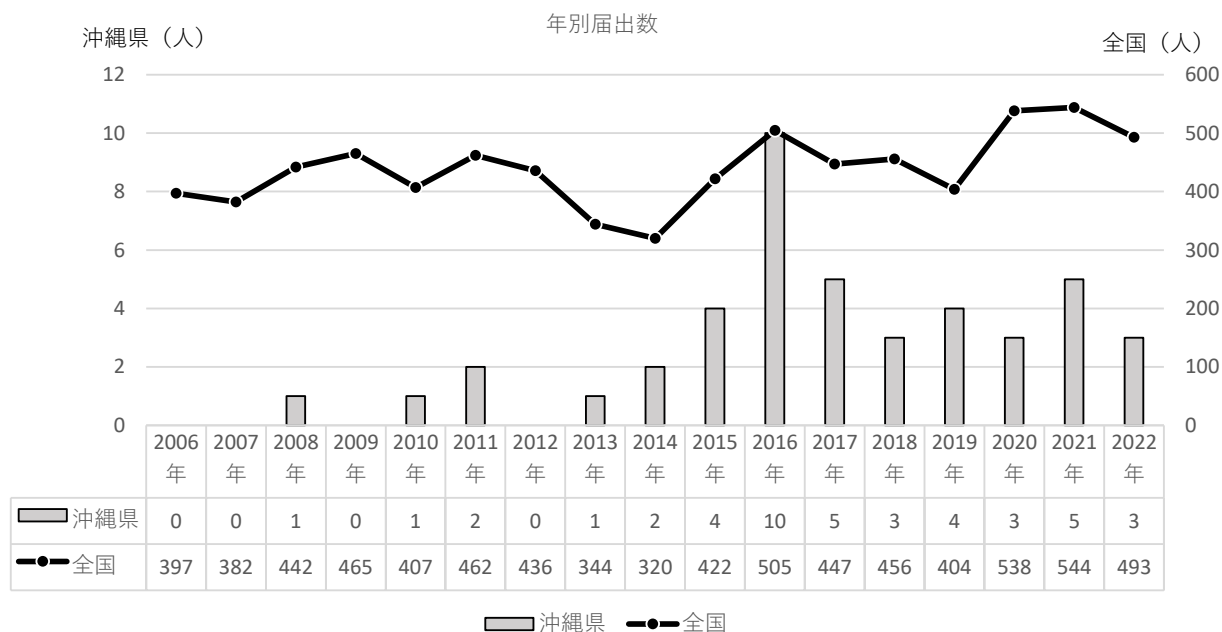
所属年	集計対象期間
2006年	2006年1月2日 ～ 2006年12月31日
2007年	2007年1月1日 ～ 2007年12月30日
2008年	2007年12月31日 ～ 2008年12月28日
*2009年	2008年12月29日 ～ 2010年1月3日
2010年	2010年1月4日 ～ 2011年1月2日
2011年	2011年1月3日 ～ 2012年1月1日
2012年	2012年1月2日 ～ 2012年12月30日
2013年	2012年12月31日 ～ 2013年12月29日
2014年	2013年12月30日 ～ 2014年12月28日
*2015年	2014年12月29日 ～ 2016年1月3日
2016年	2016年1月4日 ～ 2017年1月1日
2017年	2017年1月2日 ～ 2017年12月31日
2018年	2018年1月1日 ～ 2018年12月30日
2019年	2018年12月31日 ～ 2019年12月29日
*2020年	2019年12月30日 ～ 2021年1月3日
2021年	2021年1月4日 ～ 2022年1月2日
2022年	2022年1月3日 ～ 2023年1月1日

*2009年、2015年および2020年は53週間、その他の年は52週間となっています。

(1) 届出数の推移（沖縄県・全国）

沖縄県では2008年に初めてつつが虫病の発生が届出され、2022年までに44人の届出がありました。各年の届出数は0～10人で推移しています。

2006年～2022年の全国では7,464人の届出がありました。各年の届出数は320～544人で推移しています。



(2) 発生（診断）週別届出数（2006年～2022年、沖縄県・全国）

沖縄県では第18週～第27週、第43週～第52週につつが虫病の発生が多いほか、第32週～第38週の間にも発生がありました。

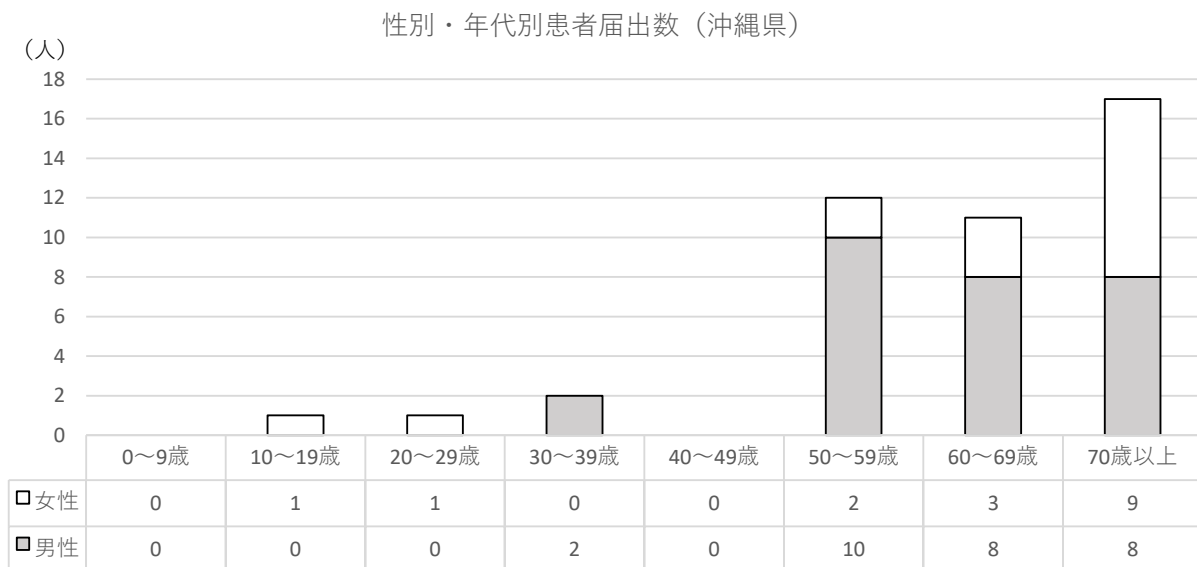
全国では第15週～第29週頃、第42週～翌年第6週頃に多くの発生がありました。



(3) 性別・年代別届出数（2006年～2022年、沖縄県）

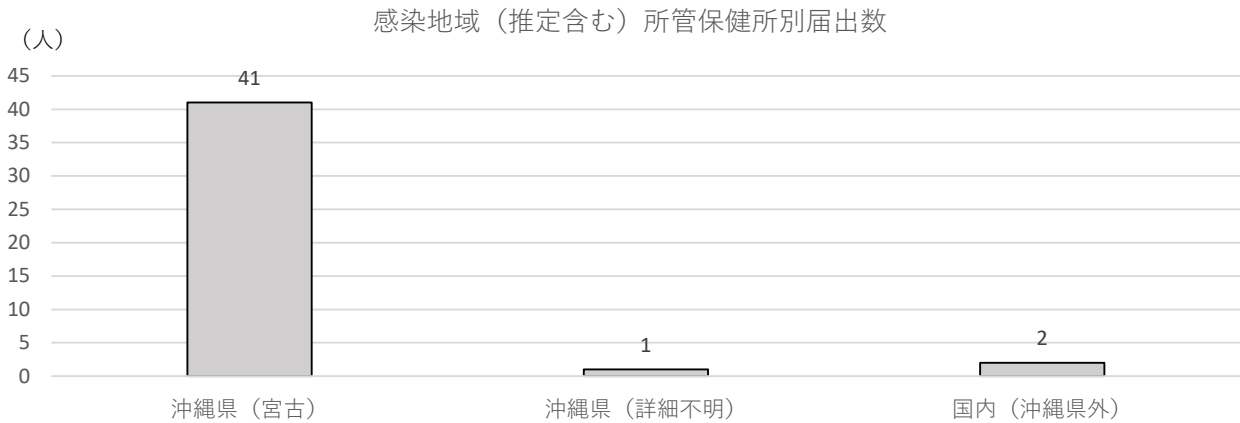
県内で届出された44人中、男性は28人(64%)、女性は16人(36%)でした。

50歳以上の届出が多く、40人と全体の91%を占めていました。



(4) 感染地域（推定含む）所管保健所別届出数（2006年～2022年、沖縄県）

県内で届出された44人中、42人が県内で、うち、41人が宮古保健所管内での感染でした。
県外での感染は2人で、いずれも国内で国外での感染の届出はありませんでした。



(5) 症状ありの割合（2006年～2022年、沖縄県）

発熱、差し口が93%、発疹が75%、頭痛が52%、リンパ節腫脹が43%、脳炎が14%、肺炎が2%でした。

